SONY

3-280-821-**03**(1)

NETJUKE

ワイヤレスネットワークオーディオシステム

NAS-C5

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。**
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

本書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

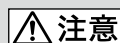
- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

警告表示の意味

本書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意
火災
感電

行為を禁止する記号

禁止
分解禁止　接触禁止
水ぬれ禁止
ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示
プラグをコンセントから抜く

目次

必ずお読みください

電波法に基づく認証について

本製品に内蔵のワイヤレスモジュールは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスモジュールを分解／改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスモジュールに貼られている証明ラベルをはがすこと

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

2. 4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
詳細については、下記のWebサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/netjuke-support/

ワイヤレスLAN機能について

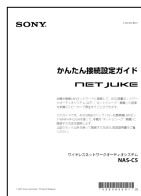
本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機の取扱説明書の種類と内容

① 取扱説明書（本書）

本機のすべての設定と操作方法を説明しています。また、本機を安全にお使いいただくための注意事項なども記載しています。

② かんたん接続設定ガイド

かんたんにネットワークに接続・設定できる自動設定（AOSS）の操作を記載しています。

③「ネットジューク カスタマーサポート」ホームページ

最新サポート情報やよくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。下記ホームページをご覧ください。
URL: http://www.sony.co.jp/netjuke-support/

本書で使われているイラストについて

本書で使われているイラストや画面は、実際のものと異なる場合があります。

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

付属のACアダプターや電源コードを使う

付属のACアダプターや電源コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

電源コードをACアダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

長時間使用しないときは電源コードを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、ACアダプターや電源コードを抜いてください。

むやみに内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、ケースやカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグを抜いてください。また雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

本機は日本国内専用です

交流100Vでお使いください。海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

お子さまの手の届かない場所に設置してください

指示

はずれた部分を飲み込むなど、思わぬ事故の原因になり危険です。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

直射日光のあたる場所や車内、熱機具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

ぬれた手でACアダプターをさわらない

ぬれた手でACアダプターを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

ACアダプターや電源コードを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切って、電源コードを電源コンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、感電の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も充分にお確かめください。

お手入れの際は電源を切ってプラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

移動させるときはACアダプターや電源コードを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
- アース線のあるコネクタには必ずアースを接続してください。

設置や移動時に本機をひきずらない

本機の設置や移動は本機を持ち上げて行ってください。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

本機を病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くに設置しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

他の機器に電波障害を引き起こす場所に設置しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

通電中の本機やACアダプターに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

接触禁止

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

指示

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で十分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

禁止

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

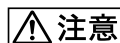
電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

禁止

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

⊕と⊖の向きを正しく入れる

指示

⊕と⊖を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

指示

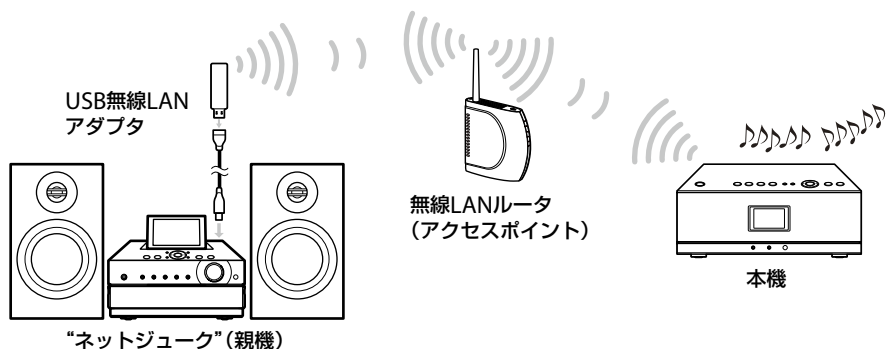
電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

こんなことができます

本機は、DLNA対応のワイヤレスネットワークオーディオシステムです。本機を無線LANネットワークに接続して、HDD搭載ネットワークオーディオシステム NAS-D55HD/M75HD/M95HD*(以下、「"ネットジューク"(親機)」)やパソコンに保存している音楽などを本機のスピーカーで再生することができます。

* 2007年10月現在の対応機種です。
　最新の情報は、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/をご覧ください。

ホームネットワーク機能で音楽を聴く(ホームネットワークファンクション)

本機をDLNA対応のクライアント(子機)として、"ネットジューク"やパソコンなどのサーバ(親機)内の音楽データを再生できます。例えば、本機を書斎に置いて、リビングに置いてある"ネットジューク"(親機)の音楽を本機から操作して聴くことができます。"ネットジューク"(親機)の電源が切れているとき(高速スタンバイ状態のみ)、また別の音楽を聞いているときでも、本機で"ネットジューク"(親機)の音楽を再生できます。

おまかせチャンネルで音楽を聴く

"ネットジューク"(親機)のおまかせチャンネルやMIXチャンネルを聴くことができます。

おまかせチャンネルとは?

"ネットジューク"(親機)に保存された曲の「雰囲気」をソニー独自の12音解析技術を使って解析し、いろいろなチャンネルに分類したものです。また、おまかせチャンネルから、アーティスト別、年代別、ムード別、アルバム別の曲を集めて聴ける「MIXチャンネル」という機能もあります。詳しくは、"ネットジューク"(親機)に付属の取扱説明書をご覧ください。

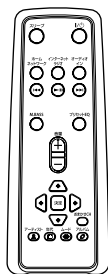
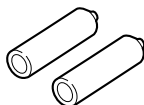
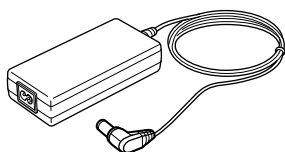
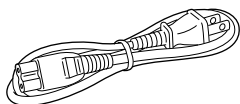
インターネットラジオを聞く(インターネットラジオファンクション)

インターネットに接続して、サービス事業者(Live365、J-WAVE)が提供するインターネットラジオをパソコンなしで聞くことができます。

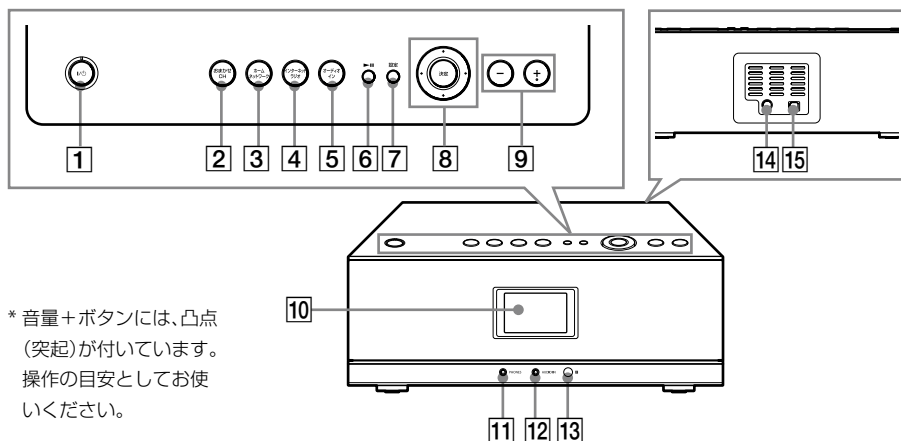
外部機器の音楽を聞く(オーディオインファンクション)

"ウォークマン"などのポータブルオーディオ機器を本機に接続すると、ポータブルオーディオ機器で再生した音楽を本機のスピーカーから出力できます。

付属品を確かめる

- ❑ リモコン(1)

- ❑ リモコン用単3形(R6)乾電池(2)

- ❑ ACアダプター(1)

- ❑ 電源コード(1)

- ❑ 取扱説明書(本書)(1)
- ❑ かんたん接続設定ガイド(1)
- ❑ インターネットラジオサービスについてのご案内(1)
- ❑ ソニーご相談窓口のご案内(1)
- ❑ 保証書(1)
- ❑ カスタマー登録のお願い(1)

各部の名称とはたらき

本体

* 音量＋ボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目安としてお使いください。

1 **I/⏻（電源）ボタン、オン/スタンバイランプ（18ページ）**
- I/⏻（電源）ボタン
  電源を入れる、または切ります。
- オン/スタンバイランプ
  電源の状態を表します。

2 **おまかせCH（チャンネル）ボタン**
"ネットジューク"（親機）のおまかせチャンネルを選んで再生します（29ページ）。

3 **ホームネットワークボタン**
ホームネットワークファンクションになります。"ネットジューク"（親機）またはDLNA対応のデジタルメディアサーバ内の音楽データを再生します（25、30ページ）。

4 **インターネットラジオボタン**
インターネットラジオファンクションになります（31ページ）。

5 **オーディオインボタン**
オーディオインファンクションになります。AUDIO IN端子に接続した機器の再生音を本機のスピーカーから出力します（32ページ）。

6 **▶IIボタン**
音源を再生または一時停止します（25、30、32ページ）。

7 **設定ボタン**
設定メニューを表示します（36ページ）。

8 **メニュー操作ボタン**
メニュー項目を選んで決定します。
- ⬆、⬇、⬅、➡ボタン
  項目の選択や設定値を変更するときに使います。
- 決定ボタン
  操作を決定するときに使います。

9 **音量＋*、音量－ボタン**
本機の音量を調節します。

10 **画面（14ページ）**

11 **PHONES（ヘッドホン）端子**
別売りのヘッドホンをつなぎます。

12 **AUDIO IN（オーディオ イン）端子**
別売りのポータブルオーディオ機器のアナログ出力端子とつなぎます（32ページ）。

13 **リモコン受光部**

14 **DC IN（イン） 12V端子**
付属のACアダプターを接続します（18ページ）。

15 **サービス用端子**
保守・サービス用です。

画面

ファンクションによって、再生画面の表示が変わります。

■ 共通表示

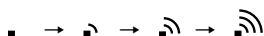
1 ファンクション

2 スリープタイマー（34ページ）

3 オンタイマー（34ページ）

4 **無線LAN信号の強さとネットワーク接続方法**

接続しているネットワークの信号の強さを表します。アンテナの周りに表示されている波紋の数が多いほど、信号が強いことを表します。

▪ → ▪ → ▪ → ▪

再生中にサーバから再生データを取得しているときは、上記のように表示が遷移します。

AOSS：自動設定（AOSS）接続しているとき

：手動設定で接続しているとき

■ ファンクション別表示

ホームネットワークファンクション

経過時間表示（初期設定）

1 曲名

2 アーティスト名

3 アルバム名

4 再生の状態

5 プログレスバー

6 再生経過時間

7 曲番／総再生曲数

8 リピートモード（31ページ）

9 シャッフルモード（31ページ）

おまかせチャンネル時

1 チャンネル名

2 曲名

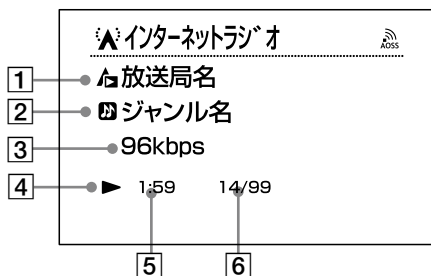
3 アーティスト名/アルバム名
交互に表示されます。

4 再生の状態

5 MIX(ミックス)チャンネル

6 再生経過時間

インターネットラジオファンクション

Live365の場合

1 放送局名

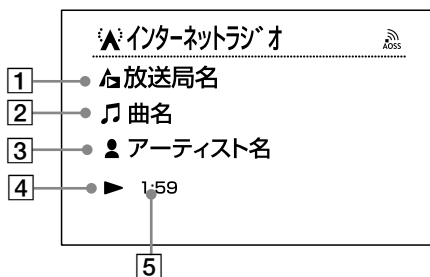
2 ジャンル名

3 転送ビットレート

4 再生の状態

5 再生経過時間

6 放送局番号/総放送局数

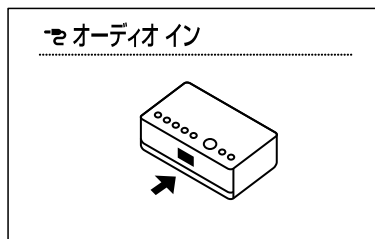
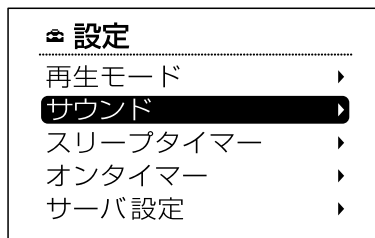
J-WAVEの場合

1 放送局名

2 曲名

3 アーティスト名

4 再生の状態

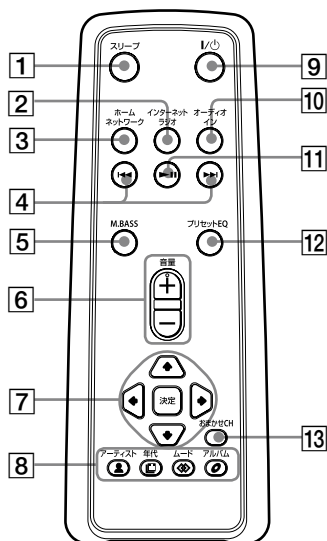
5 再生経過時間

オーディオインファンクション

■ 設定画面

設定メニューの操作方法

1 設定ボタンを押す。

2 ↑/↓ボタンを押して項目を選ぶ。

3 決定ボタンを押す。

リモコン

* 音量＋ボタンには、凸点（突起）が付いています。
操作の目安としてお使いください。

1 スリープボタン
スリープタイマーの設定/確認に使います（34ページ）。

2 インターネットラジオボタン
インターネットラジオファンクションになります（31ページ）。

3 ホームネットワークボタン
ホームネットワークファンクションになります。“ネットジューク”（親機）またはDLNA対応のデジタルメディアサーバ内の音楽データを再生します（25、30ページ）。

4 ⏮/⏭ボタン
ホームネットワークファンクション時、再生中の曲や、前後の曲の頭出しをします。押したままにすると、再生中の曲の早戻し／早送りをします。
インターネットラジオファンクション時は、前後の放送局に切り換えます（25、30、32ページ）。

5 M.BASSボタン
重低音を強調します。
ボタンを押すたびに、M.BASSの「ON」と「OFF」が切り換わります。初期設定は「ON」です（33ページ）。

6 音量 +*/–ボタン
本機の音量を調節します。

7 メニュー操作ボタン
メニューを選んで決定します。
- ⬆、⬇、⬅、➡ボタン
  項目の選択や設定値を変更するときに使います。
- 決定ボタン
  項目を決定するときに使います。

8 MIXチャンネルボタン
おまかせチャンネルのMIXチャンネル機能に使います（29ページ）。

9 I/⏻（電源）ボタン
電源を入れる、または切ります（18ページ）。

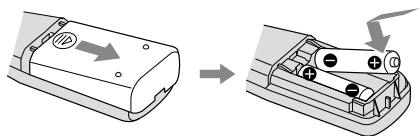
10 オーディオインボタン
オーディオインファンクションになります。AUDIO IN端子に接続した機器の再生音を本機のスピーカーから出力します（32ページ）。

11 ▶⏸ボタン
音源を再生または一時停止します（25、30、32ページ）。

12 プリセットEQボタン
あらかじめ登録されている音質に切り換えます（33ページ）。
ボタンを押すたびにプリセットEQが以下の順番で切り換わります。
FLAT→ROCK→POPS→JAZZ→CLASSIC→DANCE→FLAT→.....
初期設定は「FLAT」です（33ページ）。

13 おまかせCHボタン
おまかせチャンネルを選んで再生します（29ページ）。

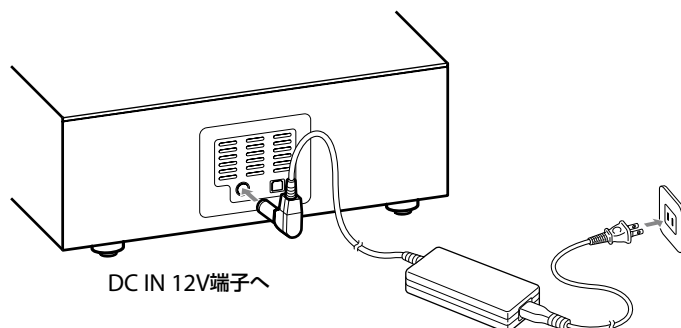
リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、リモコンに単3形乾電池（R6、付属）2個を入れます。
リモコン操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

ご注意

リモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

電源を入れる

1 付属のACアダプターで、本機とコンセントをつなぐ。

オン/スタンバイランプが赤色に点灯します。

2 I/⏻（電源）ボタンを押す。

本機の電源が入り、オン/スタンバイランプが緑色に点灯します。

ちょっと一言

付属のACアダプターで本機とコンセントをつないだあと、約1分間なにも操作をしないと、アニメーション（デモ表示）が自動的に始まります。アニメーションを消すには、おまかせCHボタン、ホームネットワークボタン、インターネットラジオボタン、オーディオインボタン、I/⏻（電源）のいずれかのボタンを押してください。
また、アニメーションを表示しないようにするには、時計を合わせてください（19ページ）。

電源を切るには

I/⏻（電源）ボタンを押します。電源が切れ、スタンバイ状態になります。

オン/スタンバイランプについて

本機の動作状態は、オン/スタンバイランプで表示されます。

動作状態		オン/スタンバイランプ
ACアダプター未接続		消灯
ACアダプター接続	スタンバイ	赤点灯
	電源オン	緑点灯
	異常発生時	赤点滅

ご注意

ACアダプターを抜くときは、I/⏻（電源）ボタンを押してスタンバイ状態にしてから抜いてください。スタンバイ状態にせずにACアダプターを抜くと、正しく情報が保持されないことがあります。

時計を合わせる

本機の機能を正しく使うには、時計を正しく合わせておく必要があります。以下の手順で時計を合わせてください。

1 設定ボタンを押す。

設定メニューが表示されます。

2 [各種設定] − [時計] を選ぶ。

3 [変更] を選ぶ。

現在日時が正しく表示されているときは、[OK] を選びます。

4 [年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] を選ぶ。

5 [12時間制]、[24時間制] を選ぶ。

6 時計を設定する。

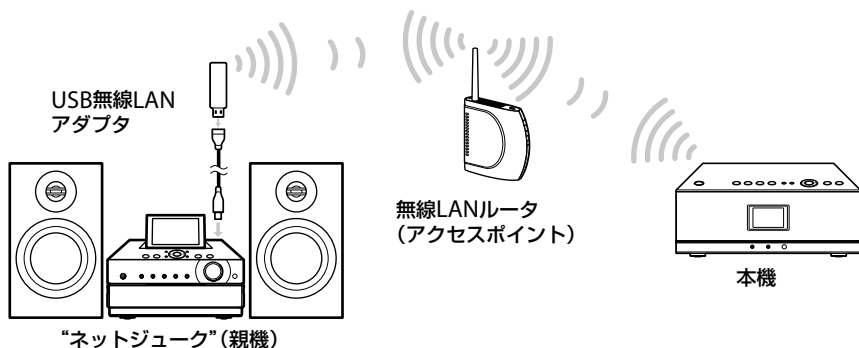
←/→ボタンで項目を選び、↑/↓ボタンで数値を変更します。
↑/↓ボタンを長押しすると、数値が連続して変化します。

7 決定ボタンを押す。

「時計設定を確定します」と表示されます。

8 [OK] を選び、決定ボタンを押す。

“ネットジューク”(親機)に接続する

本機で“ネットジューク”(親機)内の音楽データを再生するには、無線LANルータ(アクセスポイント)を経由して、本機と“ネットジューク”(親機)をつなぐ必要があります。

接続に必要なもの

- 本機
- “ネットジューク”(NAS-D55HD/M75HD/M95HD*)
  * 2007年10月現在の対応機種です。
  最新の情報は、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/をご覧ください。
- 無線LANルータ(アクセスポイント)とUSB無線LANアダプタ
  (推奨：バッファロー社製＜ネットジューク＞対応無線LANセットWHR-HP-G/UA(AOSS対応))

AOSSとは

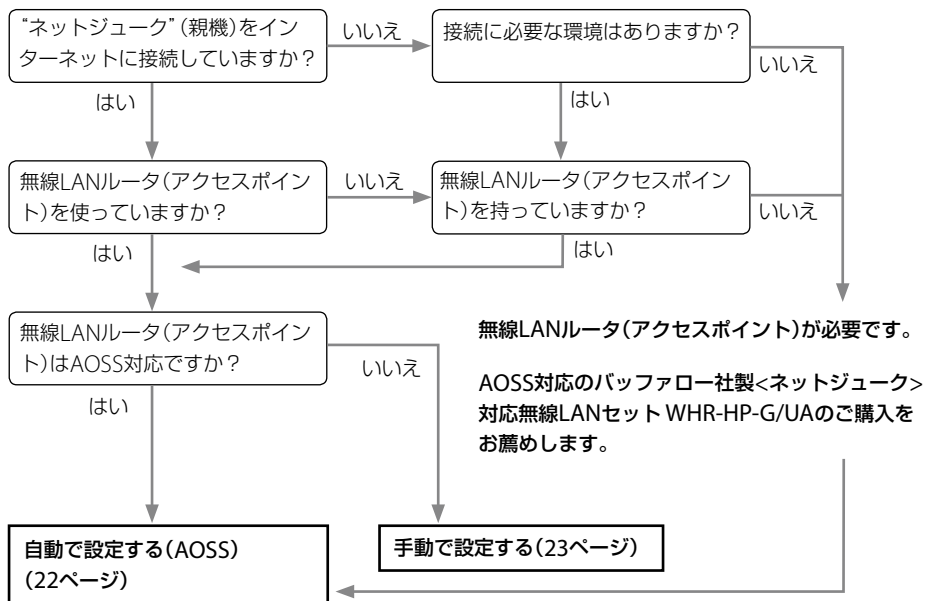
無線LANの接続・設定を簡単にする株式会社バッファローの技術です。

ちょっと一言

- AOSS対応の無線LANルータ(アクセスポイント)とUSB無線LANアダプタを使用すると、無線LANルータ(アクセスポイント)のAOSSボタンを押すだけで自動設定が可能です。
- 推奨無線LANセットWHR-HP-G/UA以外の対応無線LANルータ(アクセスポイント)およびUSB無線LANアダプタについては、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/をご覧ください。
- 本機を無線LANルータ(アクセスポイント)に接続すると、無線LANルータ(アクセスポイント)に接続されたパソコン内の音楽データを再生することもできます(30ページ)。
- “ネットジューク”(親機)と無線LANルータ(アクセスポイント)を有線でつなぐこともできます。詳しくは、“ネットジューク”(親機)に付属の取扱説明書の「有線でつなぐ」をご覧ください。

接続の前に

まず、お使いの"ネットジューク"(親機)の環境を下記のフローでご確認ください。環境によって接続・設定手順が異なります。
"ネットジューク"(親機)の接続・設定については、"ネットジューク"(親機)に付属の取扱説明書をご覧ください。

スタート

自動設定(AOSS)で接続する

AOSS対応の無線LANルータ(アクセスポイント)につなぐときは、自動で設定します。

1 “ネットジューク”(親機)を無線LANルータ(アクセスポイント)につなぐ

設定方法は、“ネットジューク”(親機)に付属の取扱説明書をご覧ください。

2 “ネットジューク”(親機)のサーバ機能を開始する

“ネットジューク”(親機)のサーバ機能を開始する方法は、“ネットジューク”(親機)に付属の取扱説明書をご覧ください。

3 本機を“ネットジューク”(親機)につなぐ

ご注意

接続の設定を行う際に、本機と無線LANルータ(アクセスポイント)が離れていると、うまく接続できない場合があります。その場合は、両機器を近づけて接続の設定を行ってみてください。

1 **本機の設定ボタンを押す。**

設定メニューが表示されます。

2 **[ネットワーク設定]－[接続方法]－[自動設定：AOSS]を選ぶ。**

画面の指示に従って操作してください。AOSSボタンを押す指示が表示されたら、無線LANルータ(アクセスポイント)のAOSSボタンをSECURITY(AOSS)ランプが点滅するまで押してください。無線LANルータ(アクセスポイント)が自動で設定されます。

3 **「無線LANルータとのAOSS接続設定が完了しました。」と表示されたら、[OK]を選ぶ。**

サーバ選択画面が表示されます。

4 **接続するサーバ名([NAS-M75HD]など)*を選ぶ。**

* サーバ名は、“ネットジューク”(親機)の「サーバ設定」画面に表示されている名前のことです。

これで“ネットジューク”(親機)との接続が完了しました。

手動設定で接続する

AOSS非対応の無線LANルータ(アクセスポイント)につなぐときは、手動で設定します。

1 "ネットジューク"(親機)を無線LANルータ(アクセスポイント)につなぐ

設定方法は、"ネットジューク"(親機)に付属の取扱説明書をご覧ください。

2 "ネットジューク"(親機)のサーバ機能を開始する

"ネットジューク"(親機)のサーバ機能を開始する方法は、"ネットジューク"(親機)に付属の取扱説明書をご覧ください。

3 本機を"ネットジューク"(親機)につなぐ

ご注意

接続の設定を行う際に、本機と無線LANルータ(アクセスポイント)が離れていると、うまく接続できない場合があります。その場合は、両機器を近づけて接続の設定を行ってみてください。

設定内容については、各機器の取扱説明書やプロバイダからの情報をご確認ください。

1 本機の設定ボタンを押す。

設定メニューが表示されます。

2 [ネットワーク設定]－[接続方法]－[手動設定]を選ぶ。

3 「無線LAN設定の設定値を変更しますか?」と表示されたら、[はい]を選ぶ。

画面の指示に従って、必要な項目を設定してください。
必要項目を入力するには、⬆/⬇ボタンを繰り返し押して入力したい文字、数字を選び、決定ボタンを押します。⬆/⬇ボタンを押すたびに、数字(0-9)、アルファベット大文字(A-Z)、アルファベット小文字(a-z)、記号(!、"、#、$、・・・・)という順に文字の種類が変わります。
文字の種類を選んでから入力するには、「0」「A」「a」「!」のいずれかが表示されている状態で、⬆/⬇ボタンを押し続けます。

- ▶ **ネットワーク名(SSID)**:ネットワーク名(SSID)を入力します。
- ▶ **セキュリティ設定**: [WEP64/128ビット] [WPA/WPA2] [なし]から選びます。
- ▶ **暗号キー**:暗号キーを入力します。16進数、ASCII入力が可能です。

▶ **IPアドレス設定：**［自動（DHCP）］［指定］から選びます。

［自動(DHCP)］：IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを自動で設定します。

［指定］：IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。

▶ **DNSサーバ設定：**［自動］［指定］から選びます。

［自動］：DNSサーバが自動的に設定されます。

［指定］：DNSサーバ設定画面になります。優先DNSサーバと代替DNSサーバを指定します。

4 「接続方法を手動設定に切り換えます」と表示されたら、［OK］を選ぶ。

再接続後、サーバ選択画面が表示されます。

5 接続するサーバ名（［NAS-M75HD］など）*を選ぶ。

* サーバ名は、“ネットジューク”（親機）の「サーバ設定」画面に表示されている名前のことです。

これで“ネットジューク”（親機）との接続が完了しました。

プロキシを設定する

ご利用のプロバイダから指定がある場合など、ネットワークの設定によっては、プロキシを設定する必要があります。

1 設定メニューで［ネットワーク設定］－［プロキシ設定］－［使用する］を選ぶ。

プロバイダが指定するアドレス（IPアドレス）とポート番号を指定し、決定ボタンを長押しします。

2 「プロキシ設定を切り換えます」と表示されたら、［OK］を選ぶ。

ご注意

設定メニューで必要項目を入力中に3分間なにも入力されない状態が続くと、本機は設定状態を自動的に解除します。途中まで入力した内容も登録されません。

“ネットジューク”(親機)内の音楽を再生する

“ネットジューク”(親機)のHDDジュークボックスに保存された音楽データを再生します。
あらかじめ本機を“ネットジューク”(親機)につなぎ(20ページ)、“ネットジューク”(親機)をサーバとして選択しておく必要があります(22、23ページ)。

ご注意

“ネットジューク”(親機)が標準起動スタンバイ状態のときは、本機と接続できません。

1 ホームネットワークボタンを押す。

初めてお使いになるときは、サーバ選択画面が表示されます。
次回からはサーバ選択画面は表示されず、前回の再生画面が表示されます。

前回再生していた情報がなくなったときや、設定の[サーバ設定]−[サーバ自動接続]が[切]に設定されているときは、サーバ選択画面が表示されます。

2 ⬆/⬇ボタンで接続する“ネットジューク”(親機)のサーバ名([NAS-M75HD]など)を選ぶ。

3 ⬆/⬇ボタンで再生したい項目を選ぶ。

以下の項目が選べます。
- ▶ プレイリスト
- ▶ アーティスト
- ▶ アルバム
- ▶ ジャンル
- ▶ 年代
- ▶ すべてのトラック
- ▶ サーバ選択

- ⬅ボタンを押すと、一つ上の階層が表示されます。いちばん上の階層で⬅ボタンを押すと再生画面に戻ります。
- ➡ボタンを押すと、一つ下の階層が表示されます。
- 項目を選んだあと、リモコンの⏮/⏭ボタンを押すと、画面単位でスクロールします。

4 決定ボタンまたは➡ボタンで画面を切り換え、再生したい曲を選ぶ。

選んだ曲の再生が始まり、再生画面が表示されます。

ちょっと一言

“ネットジューク”(親機)に接続した状態で電源をスタンバイ状態にすると、次に電源を入れたときは前回の再生画面が表示されます。

ご注意

接続するサーバに多くの曲が登録されている場合、本機の曲選択画面で曲を検索するときに、次の画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

その他の操作

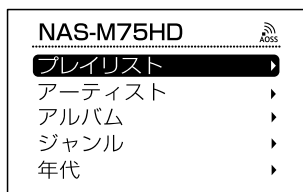
こんなときは	操作
一時停止する	▶❙❙ボタンを押す。もう一度押すと、停止した場所から再生が始まります。
早戻し/早送りする	⏮/⏭ボタンを押し続ける。
前後の曲を選ぶ	再生中にリモコンの⏮/⏭ボタンを繰り返し押して曲を選ぶ。
停止する	I/⏻(電源)ボタンを押して電源を切る。次に電源を入れたときは、停止した場所から再生が始まります。

使う

サーバを変更する

本機と接続するサーバを変更するには、下記の手順で設定してください。

1 ホームネットワークボタンを押す。

2 ←ボタンで下記の画面を表示させる

3 ↑/↓ボタンで[サーバ選択]を選ぶ。

サーバ切断確認画面が表示されます。

4 ↑/↓ボタンで[OK]を選ぶ。

接続していたサーバとの接続が切断され、サーバ一覧が表示されます。
サーバ名の横に表示されるアイコンによって、サーバの種類がわかります。

アイコン	サーバの種類
表示なし	接続したことがあり、現在起動中のサーバ
⚠	接続したことがあり、現在起動していないか、起動しているかどうか判別できなかったサーバ
NEW	接続したことがないサーバ

5 ↑/↓ボタンで接続したいサーバを選ぶ。

サーバ情報を更新するには

サーバ選択画面で[最新情報に更新]を選びます。
最新のサーバを検出し、最新のサーバ情報が表示されます。

ちょっと一言

以前接続したことがあるサーバの履歴は、過去10個まで保存されます。サーバの履歴を消すこともできます(次項)。

ご注意

"ネットジューク"(親機)内の音楽のファイル形式によっては、本機で再生、表示できない場合があります。 詳しくは、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/をご覧ください。

サーバ選択画面を編集するには

サーバ選択画面から、起動していないサーバや不明なサーバを削除できます。

1 ホームネットワークファンクション時に、設定ボタンを押す。

設定メニューが表示されます。

2 [サーバ設定]－[サーバ削除]を選ぶ。

削除対象サーバが表示されます。
削除対象サーバがない場合は、「削除対象サーバがありません」と表示されます。

3 削除したいサーバを選ぶ。

決定ボタンを押すたびに、チェックボックスのチェックの有無が変わります。

4 [OK]を選ぶ。

チェックをつけたサーバがすべて削除されます。

ご注意

起動中のサーバは、接続履歴に表示されず、削除できません。

接続するサーバを毎回手動で選択するには

お買い上げ時の設定では、本機がホームネットワークファンクションに切り換わったとき、最後に接続したサーバに自動で接続するように設定されています。
ホームネットワークファンクションに切り換えるたびに、接続するサーバを選択するよう設定することができます。

1 設定ボタンを押す。
設定メニューが表示されます。

2 [サーバ設定]－[サーバ自動接続]を選ぶ。

3 [切]を選ぶ。

おまかせチャンネルを使う

“ネットジューク”(親機)のおまかせチャンネル機能やMIXチャンネル機能を本機で利用できます。
おまかせチャンネルやMIXチャンネルについて詳しくは、“ネットジューク”(親機)に付属の取扱説明書をご覧ください。

おまかせチャンネルを使うには、あらかじめ本機を“ネットジューク”(親機)につなぎ(20ページ)、“ネットジューク”(親機)をサーバとして選択しておく必要があります(22、23ページ)。

おまかせチャンネルリスト(NAS-D55HD/M75HD/M95HD)

CH	カテゴリ名	チャンネル名	内容
◆ 001	ベーシック	おまかせチャンネル –朝のおすすめ –昼のおすすめ –夕方のおすすめ –夜のおすすめ –深夜のおすすめ	時間帯別のおすすめ曲
◆ 002		お気に入りチャンネル	お気に入りリストの曲をシャッフル
◆ 003		気まぐれチャンネル	全曲をシャッフル
◆ 004		新着チャンネル	取込み日付が新しい曲をシャッフル
005		エアチェック(Music)[*1]	チューナー録音の音楽部分
006		エアチェック(Talk)[*1]	チューナー録音の音楽以外の部分
◆ 101	フィール	ファイン・デイ	元気が良くて楽しい曲など
◆ 102		レイニー・デイ	しっとり、もの悲しい曲など
103		シフトアップ	ノリの良い曲など
◆ 104		スローライフ	ゆったりとした曲など
201	スタイル	ソファラウンジ	ジャズっぽい曲など
202		フォレスト・ホール	クラシック調の曲など
203		ダンスフロア	リズムに乗ったラップ、R&Bなど
204		エクストリーム	激しいロック曲など
205		エモーショナル	バラード調の曲など
206		ノスタルジア	録音が古い感じの曲など
◆ 301	サウンド	アコースティック	アコースティック楽器を使った曲など
302		エレクトロニック	電子楽器を使った曲など
303		インストゥルメンタル	楽器だけの曲など
304		ボーカル	ボーカルの入った曲など
401	シーン:ライフ	おはようタイム	元気でさわやかなお目覚め曲
402		おやすみタイム	静かで穏やかなベッドルーム向けの曲
403		パーティータイム	アップテンポで明るい曲など
404		おそうじタイム	楽しくおそうじしたいときに
501	シーン:ワークアウト	ウォーク	お散歩、ウォーキングに
502		ラン	ジョギング、エクササイズに
503		メディテーション	集中したいときに
◆ 901	エクストラ	季節のチャンネル –季節のチャンネル・春 –季節のチャンネル・夏 –季節のチャンネル・秋 –季節のチャンネル・冬 –メリー・クリスマス	季節やイベントにマッチする曲など
909		隠れた名曲	どのチャンネルにも含まれない曲

◆ 該当する曲がなくても常に表示されるチャンネル(お買い上げ時の設定)。

*1 エアチェックチャンネルは、録音時、[トラックマーク]設定を[オート]にすると登録されます。

MIXチャンネルリスト(NAS-D55HD/M75HD/M95HD)

リモコンボタン	MIXチャンネル名	説明
	アーティスト MIX	同じアーティストの曲
	年代 MIX	年代が近い曲
	ムード MIX	雰囲気が似ている曲
	アルバム MIX	同じアルバムの曲

おまかせチャンネルで再生する

1 おまかせCHボタンを押す。

チャンネル選択画面が表示され、表示されている曲の盛り上がり部分から再生されます。

2 ⬆/⬇ボタンでチャンネルを選ぶ。

選ばれているチャンネルの先頭曲の盛り上がり部分から再生されます。

3 ⬅/➡ボタンでチャンネル内の曲を選ぶ。

それぞれの曲は曲の盛り上がり部分から再生されます。
決定ボタンを押すと、再生中の曲の先頭から再生が始まります。

ちょっと一言

おまかせチャンネルを選択した状態で電源をスタンバイ状態にすると、次に電源を入れたときは前回のチャンネルに関係なくCH.001になります。

MIXチャンネルを使う

おまかせチャンネル再生中に、リモコンのMIXチャンネルのそれぞれのボタンを押すと、"ネットジューク"(親機)のHDDジュークボックス内の曲を次のようなチャンネルで再生します。

- (アーティスト)ボタン:同じアーティストの曲のMIXチャンネル
- (年代)ボタン:年代が近い曲のMIXチャンネル
- (ムード)ボタン:雰囲気が似ている曲のMIXチャンネル
- (アルバム)ボタン:同じアルバム内のMIXチャンネル

例えば、あるアーティストの曲を聴いているときに アーティストボタンを押すと、同じアーティストの曲を集めたチャンネルを再生することができます。
チャンネルに該当する曲が1曲しかない場合は、そのチャンネルを選ぶことはできません。

1 おまかせチャンネルを再生する。

2 リモコンのMIXチャンネルボタン(アーティスト、 年代、 ムード、 アルバム)を押す。

MIXチャンネルが表示されます。

3 ⬅/➡ボタンで曲を選び、決定ボタンを押す。

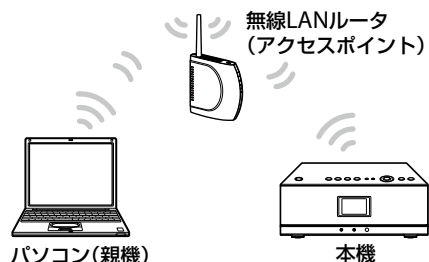
再生が始まります。
MIXチャンネルから通常のおまかせチャンネルに戻るには、手順2で選んだMIXチャンネルボタンを押します。

その他の操作

こんなときは	操作
一時停止する	▶IIボタンを押す。もう一度押すと、停止した場所から再生が始まります。
早戻し/早送りする	I◀◀/▶▶Iボタンを押し続ける。
前後の曲を選ぶ	再生中にリモコンのI◀◀/▶▶Iボタンを繰り返し押して曲を選ぶ。
停止する	I/⏻(電源)ボタンを押して電源を切る。次に電源を入れたときはCH.001になります。

使う

パソコン内の音楽を再生する

DLNA対応のデジタルメディアサーバ内の音楽データを再生します。
あらかじめ、無線LANルータ（アクセスポイント）を経由して、本機とパソコンをつないでおく必要があります。
インターネット接続については無線LANルータ（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧ください。

本機でお使いになれるパソコン、再生できるファイル形式については、48、49ページをご覧ください。

あらかじめ、パソコンのソフトウェアのサーバ機能を有効に設定しておいてください。
設定方法は、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/をご覧ください。

1 ホームネットワークボタンを押す。

2 接続するサーバを選ぶ

サーバ選択画面が表示された場合は、⬆/⬇ボタンで接続するサーバを選びます。
サーバ選択画面が表示されない場合は、「サーバを選択する」（26ページ）の手順に従って設定してください。

3 ⬆/⬇ボタンで再生したい項目を選ぶ。

サーバによって、曲/アーティスト/アルバム/ジャンル/登録したフォルダなど、表示される項目が異なります。

- ⬅ボタンを押すと、一つ上の階層が表示されます。いちばん上の階層で⬅ボタンを押すと再生画面に戻ります。
- ➡ボタンを押すと、一つ下の階層が表示されます。
- 項目を選んだあと、リモコンの⏮/⏭ボタンを押すと、前後の画面単位でスクロールします。

4 決定ボタンまたは➡ボタンで画面を切り換え、再生したい曲を選ぶ。

選んだ曲の再生が始まり、再生画面が表示されます。

ちょっと一言

パソコン（親機）に接続した状態で電源をスタンバイ状態にすると、次に電源を入れたときは前回の再生画面が表示されます。

ご注意

- 本機では、再生できる曲の一覧を並べ替えることはできません。
- 接続するサーバに多くの曲が登録されている場合、本機の曲選択画面で曲を検索するときに、次の画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

その他の操作

こんなときは	操作
一時停止する	▶❚❚ボタンを押す。もう一度押すと、停止した場所から再生が始まります。
早戻し/早送りする	⏮/⏭ボタンを押し続ける
前後の曲を選ぶ	再生中にリモコンの⏮/⏭ボタンを繰り返し押して曲を選ぶ。
停止する	I/⏻（電源）ボタンを押して電源を切る。次に電源を入れたときは、停止した場所から再生が始まります。

リピート/シャッフル再生する

曲順を変えて再生(シャッフル)したり、曲を繰り返し再生(リピート)したりできます。
ホームネットワークファンクションのみで設定できます。

1 **設定ボタンを押す。**
設定メニューが表示されます。

2 **[再生モード]を選ぶ。**

3 **お好みの再生モードを選ぶ。**

再生モードの種類/アイコン	説明
コンティニュー(初期設定)/表示なし	選んだ曲以降の全曲を、曲一覧の順に1回再生し、一時停止します。
全曲リピート/	再生中の曲を含む再生エリアの曲を順に繰り返し再生します。
1曲リピート/1	再生中の曲を繰り返し再生します。
シャッフル/SHUF	再生中の曲を含む再生エリアの曲を順不同に1回ずつ再生し、一時停止します。
シャッフルリピート/SHUF	再生中の曲を含む再生エリアの曲を順不同に繰り返し再生します。

ご注意

- シャッフル再生中、⏮ボタンを押しても前の曲を頭出しできません。再生中の曲の頭出しはできます。
- シャッフル再生中、フォルダはシャッフルされません。

インターネットラジオを聞く

サービス事業者(Live365、J-WAVE)が提供するインターネットラジオが聞けます。
インターネットラジオを聞くには、本機がつながっている無線LANルータ(アクセスポイント)がインターネットに接続している必要があります。インターネット接続については、無線LANルータ(アクセスポイント)の取扱説明書をご覧ください。
インターネットラジオのサービス内容については、別紙の「インターネットラジオサービスについてのご案内」をご覧ください。

ご注意

初めてJ-WAVEを受信するとき、受信するために必要なライセンス取得をJ-WAVEから要求されます。属性(性別、年齢、職業など)の入力が必要になりますが、個人を特定するものではありません。

1 **インターネットラジオボタンを押す。**
サービス事業者の一覧が表示されます。

2 **[Live365]または[J-WAVE]を選ぶ。**
[J-WAVE]を選んだ場合は、J-WAVEの放送局を受信します。
[Live365]を選んだ場合は、手順3に進んでください。

3 **Live365の放送局を選ぶ。**
選んだ放送局を受信します。

ご注意

- 本書で記載しているインターネットラジオのサービス内容は、2007年10月現在の内容です。インターネットラジオのサービスは、予告なく中止または内容変更される場合があります。
- 放送局を選んだあと1分間経っても接続できないときは、「放送局に接続できません」と表示され、[OK]を選ぶと無音の受信画面になります。
- Live365のホームページで編集した放送局一覧を本機で取得するためには、本機の時計を合わせておく必要があります（19ページ）。

ちょっと一言

インターネットラジオに接続した状態で電源をスタンバイ状態にすると、次に電源を入れたときは前回受信した放送局を受信します。

Live365の放送局情報を更新するには

放送局の一覧画面で[最新情報に更新]を選び、決定ボタンを押します。
最新の放送局一覧が表示されます。

その他の操作

こんなときは	操作
一時停止する	▶❚❚ボタンを押す。もう一度押すと受信を再開します。
放送局を切り換える（Live365のみ）	リモコンの❙◀◀/▶▶❙ボタンを繰り返し押す。

外部機器をつないで聞く

“ウォークマン”などのポータブルオーディオ機器を本機のAUDIO IN端子に接続すると、ポータブルオーディオ機器で再生している音楽を本機のスピーカーから出力できます。

ご注意

突然大きな音が出ないように、あらかじめ本機の音量を下げておいてください。

1 本機前面のAUDIO IN端子に外部機器を接続する。

ステレオミニプラグの音声接続コード（別売り）を使って接続します。

2 オーディオインボタンを押す。

オーディオインファンクションになります。

3 接続した機器の再生を始める。

本機のスピーカーから音声が出力されます。再生について詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

4 音量 +/– ボタンを押して、音量を調節する。

ちょっと一言

接続した外部機器の出力レベルが大きい、または小さい場合は、本機の入力感度を調整することができます（37ページ）。

ご注意

本機から外部機器を操作することはできません。

音質を設定する

お好みの音質に調整する（プリセットEQ）

音楽のジャンルなどに合わせて、お好みの音質に設定できます。

1 設定ボタンを押す。

設定メニューが表示されます。

2 [サウンド] − [プリセットEQ] を選ぶ。

3 設定を選ぶ。

以下の項目が選べます。

- FLAT（イコライザーなし：初期設定）
- ROCK
- POPS
- JAZZ
- CLASSIC
- DANCE

ちょっと一言

リモコンのプリセットEQボタンでも設定できます。ボタンを押すたびにプリセットEQが以下の順番で切り換わります。

FLAT→ROCK→POPS→JAZZ→CLASSIC→DANCE→FLAT→.....

重低音を強調する（M. BASS）

重低音を強調し、迫力ある音質にします。初期設定は「ON」です。下記の手順で確認できます。

1 設定ボタンを押す。

設定メニューが表示されます。

2 [サウンド] − [M.BASS] を選ぶ。

3 [ON] を選ぶ。

ちょっと一言

リモコンのM.BASSボタンでも設定できます。
ボタンを押すたびに、M.BASSの「ON」と「OFF」が切り換わります。

タイマーを使う

スリープタイマーを使う

指定した時間がたつと、自動的に本機の電源が切れスタンバイ状態になります。眠るときにお使いなると便利です。

1 設定ボタンを押す。

設定メニューが表示されます。

2 [スリープタイマー]を選ぶ。

3 設定する時間を[15分][30分][60分][90分]から選ぶ。

スリープタイマーが設定され、画面に⏻が表示されます。設定した時間が経過すると、音量が小さくなって電源が切れ、スタンバイ状態になります。

ちょっと一言

- リモコンのスリープボタンでも設定できます。スリープボタンを押すたびに、切/入(設定時間表示)が以下のように切り換わります。「切」→「15分」→「30分」→「60分」→「90分」→「切」.....
- スリープタイマーが設定されているときにリモコンのスリープボタンを1回押すと、スタンバイ状態になるまでの残り時間が表示されます。もう一度押すと、スリープタイマーが再設定されます。

ご注意

スリープタイマーの終了時間になる前に、以下の操作を行うと、設定していたスリープタイマーはリセットされます。

– ACアダプターを抜く
– 電源を切る(スタンバイ状態)
– 設定メニューの[ネットワーク設定]を実行する
– 設定メニューの[各種設定]－[工場出荷時設定]を実行する

オンタイマーを使う

指定した時刻に自動的に電源が入り、自動的に電源が切れるように設定できます。音楽の自動再生が可能です。2件まで登録できます。あらかじめ時計を合わせてください。(19ページ)

1 オンタイマーで再生したい曲または放送局を再生する。

前回と同じ曲または放送局を再生したい場合は、この手順は必要ありません。

2 設定ボタンを押す。

設定メニューが表示されます。

3 [オンタイマー]を選ぶ。

4 [タイマー 1]または[タイマー 2]を選ぶ。

5 [入]を選ぶ。

時間設定画面が表示されます。

6 開始・終了時刻を設定する。

⬆/⬇ボタンで時刻を変更し、決定ボタンを押します。
決定ボタンを押すたびに、開始時刻の[時]→[分]→終了時刻の[時]→[分]とカーソルが移動します。
⬆/⬇ボタンを長押しすると、数値が連続して変化します。

7 曜日を設定する。

⬆/⬇で曜日を選び、決定ボタンを押します。決定ボタンを押すたびに、チェックボックスのチェックの有無が変わります。
オンタイマーを使う曜日がチェックされていることを確認し、[OK]を選ぶ。

8 音源を設定する。

［はい］を選ぶと、再生中の曲をオンタイマー再生する曲に設定します。インターネットラジオの場合は、受信している放送局が設定されます。ただし、おまかせチャンネルの場合は、必ずCH.001が再生されます。
［いいえ］を選ぶと、前回設定した音源に設定されます。

9 音量 +/– ボタンで音量を調節し、再生音量を設定する。

［はい］を選ぶと、現在の音量をオンタイマー再生時の音量に設定します。
［いいえ］を選ぶと、以前設定した音量に設定されます。
「オンタイマー設定を確定します」と表示されます。

10 ［OK］を選ぶ。

オンタイマーが設定され、再生画面に⏻が表示されます。

設定した開始時刻の3分前になると、オンタイマー再生の準備状態になります。
設定した終了時刻の20秒前になると、音量が次第に下がり、終了時刻にスタンバイ状態になります。

ちょっと一言

- 終了時刻を「--:--」に設定すると、音源は終了せずにそのまま再生されます。
- ホームネットワークファンクションでオンタイマーを設定している最中は、一時的に再生モードが「1曲リピート」になります。設定を完了すると、元の再生モードに戻ります。
- オンタイマー再生が始まる前に、指定した曲が削除されていたり、呼び出せなかったりした場合、開始時刻にアラームが鳴ります。いずれかのボタンやキーを押すと、アラームが停止します。ただし、オンタイマーで設定した開始時刻の3分前になってから、指定した曲が削除されたり、接続が切断された場合は、アラームは鳴りません。
- タイマー 1とタイマー 2の時間帯が重なって設定された場合、開始時刻が先に設定されているタイマーが優先して起動します。

ご注意

- オーディオインファンクションでは、オンタイマー機能は使用できません。
- ACアダプターを抜くと、オンタイマーの設定がリセットされます。
- オンタイマー開始時刻3分前になったときにすでに電源が入っていた場合、オンタイマーは作動しません。

設定をする

本機を使うときの設定を変更できます。設定の操作は、下記の手順で行います。

1 **設定ボタンを押す。**

設定メニューが表示されます。

2 **↑/↓ボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。**

上の階層に戻るときは、←ボタンを押します。

3 **手順2を繰り返して、設定を完了する。**

設定を途中でやめるには

設定ボタンを押すと設定の第1階層に戻ります。もう一度設定ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

設定項目

→ 第1階層	→ 第2階層	備考
再生モード		再生時、曲を順不同に聞いたり、繰り返して聞いたりするように設定します（31ページ）。（初期設定：コンティニュー）
サウンド		再生する音源の音質効果を設定します。
	プリセットEQ	音楽のジャンルなどに合わせて、お好みの音質に設定できます（33ページ）。（初期設定：FLAT）
	M.BASS	重低音を強調し、迫力ある音質にします（33ページ）。（初期設定：ON）
スリープタイマー		一定時間後に自動でスタンバイ状態になるように設定します（34ページ）。
オンタイマー		指定した時間に再生を始めるように設定します（34ページ）。オンタイマーは2つまで設定できます。
サーバ設定		サーバへの自動接続の設定や、サーバ履歴の削除ができます。
	サーバ自動接続	ホームネットワークファンクションのとき、前回接続したサーバに自動接続するように設定します（27ページ）。（初期設定：入）
	サーバ削除	（26ページ）
ネットワーク設定	**接続方法**	自動設定（AOSS）または手動設定を選びます。 • 自動設定（AOSS）（22ページ） • 手動設定（23ページ）
	プロキシ設定	プロキシの設定をします（24ページ）。

→ 第1階層	→ 第2階層	備考
各種設定		本機のさまざまな設定を変更します。
	外部機器入力感度	AUDIO IN端子に接続した外部機器の出力レベルに合わせて、本機の入力感度を調整できます。 • 高（ヘッドホン出力）：ポータブルオーディオ機器のヘッドホン出力端子に接続する場合 • 低（ライン出力）：ポータブルオーディオ機器のライン出力端子に接続する場合　（初期設定）
	バックライト	本機の電源が入っているとき、画面のバックライトを自動で点灯／消灯するか、常に点灯するか設定します。 • 常時点灯（常に点灯している）（初期設定） • 自動消灯（キーを操作してから90秒経つと自動的に消灯する。消灯中に本機を操作すると自動的に点灯する）
	時計	現在の日時を設定します（19ページ）。（初期設定：2007年1月1日 12:00AM）
	工場出荷時設定	すべての設定を初期設定に戻します。
機器情報		本機のネットワーク情報、MACアドレス、ファームウェアのバージョン、デバイスIDを表示します。
	ネットワーク情報	• 接続方法 • ネットワーク名（SSID） • セキュリティ設定 • IPアドレス設定 • IPアドレス／サブネットマスク • デフォルトゲートウェイ • DNSサーバ設定 • 優先DNSサーバ／代替サーバ • プロキシ設定
	MACアドレス	本機のMACアドレスを表示します。
	ファームウェア	本機のファームウエアのバージョンを表示します。
	デバイスID	インターネットラジオ（Live365）で使用するデバイスIDを表示します。

故障かな？と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れにしたがってチェックしてください。
メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

1 この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。

本書の手順の中にもさまざまな情報があります。該当する項目を調べてください。

2 「ネットジューク カスタマーサポート」ホームページ（http://www.sony.co.jp/netjuke-support/）で調べる。

最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

3 それでもトラブルが解決しないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店に相談する。

電源を入れる

症状	原因/処置
電源が入らない	➔ ACアダプターを本機とコンセントにしっかり差し込む（18ページ）。 ➔ 内部システムが誤動作しています。または、使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けています。ACアダプターをはずし、約30秒間経過してから、ACアダプターをつなぐ。
電源が切れない	➔ 内部システムが誤動作しています。または、使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けています。ACアダプターをはずし、約30秒間経過してから、ACアダプターをつなぐ。 ➔ 本機は電源を切るとスタンバイ状態（オン/スタンバイランプが赤色に点灯）になります。完全に電源を切りたい場合は、ACアダプターをはずす。
「DC-INの電圧が高過ぎます。指定のACアダプターを接続してください」と表示され、スタンバイ状態になる	➔ 指定以外のACアダプターを使用しているため電源電圧が高くなっています。指定のACアダプターを使う。

症状	原因/処置
• 「機器内温度が高過ぎます」と表示され、スタンバイ状態になる • スタンバイ状態で画面には何も表示されず、オン/スタンバイランプが赤く点滅している	➔ 大音量で再生を続けていると、機器内の温度が高くなることがあります。電源を切り、温度が下がるまでしばらく待ってから、再度電源を入れる。
• 「内部システムに異常があります」と表示され、電源が切れてスタンバイ状態になる	➔ 内部の保護機能が働いています。ACアダプターを外し約30秒間経過してからACアダプターをつなぐ。

自動設定(AOSS)で接続する

症状	原因/処置
「AOSSモードの無線LANルータが見つかりませんでした。」と表示される	➔ 無線LANルータ(アクセスポイント)のAOSSボタンが押されていない可能性があります。再度AOSS設定を行う。 ➔ 本機と無線LANルータ(アクセスポイント)を近づけて、再度AOSS設定を行う。
• 「AOSS情報の交換でエラーが発生しました。」と表示される • 「セキュリティ情報に異常が見つかりました。」と表示される • 「セキュリティキー交換でエラーが発生しました。」と表示される	➔ 本機と無線LANルータ(アクセスポイント)の間の情報交換が失敗しています。しばらく待ってから、再度AOSS設定を行う。 ➔ 本機と無線LANルータ(アクセスポイント)を近づけて、再度AOSS設定を行う。
「他の機器が接続中のため、少し待ってからやり直してください。」と表示される	➔ 無線LANルータ(アクセスポイント)に他の機器がAOSS設定を行っています。しばらく待ってから、再度AOSS設定を行う。
「複数のAOSSモードの無線LANルータが見つかりました。少し待ってからやり直してください。」と表示される	➔ AOSS設定モードの無線LANルータ(アクセスポイント)が複数見つかりました。しばらく待ってから、再度AOSS設定を行う。

"ネットジューク"(親機)やパソコンに保存している音楽を聴く(ホームネットワークファンクション)

症状	原因/処置
• ネットワークに接続できない • 「サーバに接続できません」と表示される • 「サーバとの通信が切断されました」と表示される • 「サーバとの通信が切断されたため一覧情報取得を中止しました」と表示される • 「NET JUKE Wireless Player」と表示されたまま、先に進まない	➔ 無線LANルータ(アクセスポイント)の電源が入っているかを確認する。 ➔ "ネットジューク"(親機)またはパソコンの電源が入っているかを確認する。 ➔ 本機のネットワーク設定が正しくありません。設定の[機器情報]—[ネットワーク情報]を確認する。 ➔ "ネットジューク"(親機)またはパソコンが不安定になっている可能性があります。"ネットジューク"(親機)またはパソコンを再起動する。 ➔ "ネットジューク"(親機)またはパソコンを正しく準備できているか、以下の項目を確認する。 • サーバが起動していること • サーバが[開始]の状態になっていること • 本機が登録されていること ➔ 本機と無線LANルータ(アクセスポイント)を近づけてみる。 ➔ パソコンのインターネット接続ファイヤーウォール(ICF)機能が有効になっている環境では、パソコンと接続できない場合があります。ファイヤーウォールの設定を変更すると接続できる場合があります。(ファイヤーウォールの設定を変更するときは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。) ➔ "ネットジューク"(親機)のソフトウェアをバージョンアップしたり、パソコンを再セットアップ(リカバリ)した場合は、本機との接続設定をやり直す。
サーバ選択で"ネットジューク"(親機)またはパソコンが表示されない	➔ "ネットジューク"(親機)またはパソコンの電源を入れる前に本機の電源を入れた場合は、サーバ選択画面で[最新情報に更新]を選び、サーバの一覧を更新する(26ページ)。 ➔ 無線LANルータ(アクセスポイント)の電源が入っているかを確認する。 ➔ "ネットジューク"(親機)またはパソコンの電源が入っているかを確認する。 ➔ "ネットジューク"(親機)またはパソコンを正しく準備できているか、以下の項目を確認する。 • サーバが起動していること • サーバが[開始]の状態になっていること • 本機が登録されていること
通常の再生ができない	➔ リピート(繰り返し)モードや、シャッフル(ランダム再生)モードが設定されています。設定の[再生モード]を[コンティニュー]に変更する(31ページ)。

症状	原因/処置
再生中に音が途切れる	➔ ワイヤレスネットワークの帯域が不足している可能性があります。本機と無線LANルータ(アクセスポイント)をできるだけ短い距離で、間に障害物が入らないように配置する。 ➔ 接続しているパソコンへの負荷が大きくなっている可能性があります。ウィルスチェックソフトが起動しているときはパソコンの負荷が大きくなるため、ウィルスチェックソフトを起動していない状態で接続する。 ➔ ネットワーク環境、電波の状況および使用環境によっては複数のクライアントで同時に再生できないことがあります。別のクライアントを停止させることで再生できるようになります。
早送り／早戻しができない	➔ システム上の制約で、下記のような曲は早送り／早戻しができません。 • 残りの再生時間が不明な曲 • 著作権保護されたWMA形式のファイル 早送り／早戻しができない音源を再生中、再生画面が経過時間表示になっているときはプログレスバーが表示されません。
「このファイルは対応フォーマットでないため再生できません」と表示される	➔ オーディオではないファイルは再生できません。
「この曲は再生できません」と表示される	➔ 以下の曲は再生できません。 – 再生制限があり、その条件が満たされていない曲 – 権利情報が不正になっている曲 – ホームネットワークストリーミングが許可されていない、インターネット上の音楽配信サービスで購入した曲 ➔ 該当する曲がサーバから削除されていないかを確認する。削除されている場合は、ホームネットワークボタンを押して曲を選択し直す。 ➔ 無線LANルータ(アクセスポイント)の電源が入っているかを確認する。 ➔ “ネットジューク”(親機)またはパソコンの電源が入っているかを確認する。 ➔ “ネットジューク”(親機)またはパソコンが不安定になっている可能性があります。“ネットジューク”(親機)またはパソコンを再起動する。 ➔ “ネットジューク”(親機)またはパソコンが正しく無線LANルータ(アクセスポイント)に接続されているかを確認する。
「再生できる曲がありません」と表示される	➔ 選択したフォルダの下の階層に曲もフォルダもない場合は、そのフォルダを展開して表示することはできません。

症状	原因/処置
ATRAC3形式またはATRAC3plus形式の曲が再生できない	➔ Windows Media Playerをサーバにして接続しているときは再生できません。VAIO Media Integrated Serverをサーバにして接続する。
WMA形式の曲が再生できない	➔ VAIO Media Integrated Serverをサーバにして接続しているときは著作権保護されたWMA形式の曲は再生できません。Windows Media Playerをサーバにして接続する。 ➔ WMAのファイル形式によっては再生できない曲があります。
曲を選択できない	➔ "ネットジューク"(親機)またはパソコンのサーバの曲構成が変更されている可能性があります。ホームネットワークボタンを押す。それでも改善しない場合は、サーバ選択画面でサーバを再選択してください。
Windows Media Player 11の[メディアの共有]に本機の情報が表示されない	➔ 「不明なデバイス」と表示されますが、動作上は問題ありません。

インターネットラジオを聞く(インターネットラジオファンクション)

症状	原因/処置
• インターネットに接続できない • 「放送局に接続できません」と表示される • 「放送局との通信が切断されたため一覧情報取得を中止しました」と表示される • 「NET JUKE Wireless Player」と表示されたまま、先に進まない	➔ 無線LANルータ(アクセスポイント)の電源が入っているかを確認する。 ➔ 本機のネットワーク設定が正しくありません。設定の[機器情報]—[ネットワーク情報]を確認する。 ➔ 本機と無線LANルータ(アクセスポイント)を近づけてみる。 ➔ 同時に1つの端末しかインターネットに接続できない契約の場合は、すでに別の端末を接続しているときは接続できません。ご利用の回線事業者またはプロバイダに問い合わせる。
受信中に音が途切れる	➔ ワイヤレスネットワークの帯域が不足している可能性があります。本機と無線LANルータ(アクセスポイント)をできるだけ短い距離で、間に障害物が入らないように配置する。
パソコンで編集したLive365の放送局の一覧が表示されない	➔ 時計設定が初期状態のまま、または正しい現在時刻とずれています。設定の[各種設定]—[時計]で、正しい現在時刻を設定する(19ページ)。

タイマー設定

症状	原因/処置
「先に時計を設定してください」と表示される	➔ 時計設定が工場出荷時状態のとき、オンタイマーを設定できません。オンタイマー設定の前に、時計設定をする(19ページ)。

症状	原因/処置
「設定したい曜日を選択してください」と表示される	➔ [オンタイマー曜日設定]では、いずれかの曜日にチェックがないと、[OK]を選択できません。いずれかの曜日にチェックをつけて、[OK]を選択する。
「タイマー再生させたい音源を再生中に設定をしてください」と表示される	➔ 現在再生している曲がないときは、[再生音源設定]で[はい]を選択できません。曲を再生中にオンタイマーを設定する。 ➔ オーディオインファンクションのときは、[再生音源設定]で[はい]を選択できません。

設定を使う

症状	原因/処置
「削除対象サーバがありません」と表示される	➔ 削除対象サーバが1つもないときは、[サーバ削除]を選択できません。

その他

症状	原因/処置
ACアダプターを接続後、時計が表示されずアニメーションが表示される	➔ デモ表示になっています(18ページ)。アニメーションを表示しないようにするには、時計を設定する(19ページ)。
• 操作を受けつけない • 正しく動作しない	➔ 内部システムが誤動作しています。または、使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けています。ACアダプターをはずし、約30秒間経過してから、ACアダプターをつなぐ。
リモコンで操作できない	➔ リモコンの電池が正しく入っていません。リモコンの電池を正しく入れる(17ページ)。 ➔ 電池が消耗している。 ➔ 電池が入っていない。 ➔ リモコンをリモコン受光部に向けて操作する。 ➔ 本機の近くにインバータ方式の蛍光灯がある。本機を蛍光灯から離して設置する。
スピーカーから音が出ない	➔ ヘッドホンが接続されています。ヘッドホンをPHONES端子から抜く。 ➔ 一時停止を解除する。 ➔ 音量が最小になっているので音量を上げる。
ヘッドホンから音が出ない	➔ ヘッドホンがしっかり差し込まれていません。本体にヘッドホンプラグをしっかり差し込む。
曲名や放送局名などのタイトル表示が途中から表示されない	➔ システム上の制約で、表示できる文字数は、1タイトルにつき約120文字です。
AUDIO IN端子に接続した外部機器の音量が小さい	➔ 設定の[各種設定]－[外部入力感度]を[高(ヘッドホン出力)]にする。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口やお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口やお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

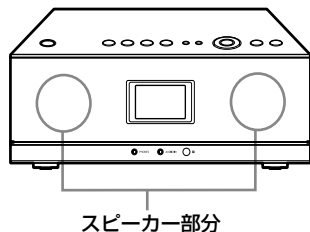
この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名**:NAS-C5
- **故障の状態**:できるだけ詳しく
- **購入年月日**:

使用上のご注意

落とさないでください

- 本機に強いショックを与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機前面のスピーカー部分には、強い力を加えないでください。

置き場所について

次のような場所に置かないでください。

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高いところ。（本機は5℃～35℃の範囲でご使用ください。）
- 車のダッシュボードの上や、直射日光下で窓を閉め切った自動車内。（特に夏季）
- 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
- 電子レンジのそば。
- ほこりの多いところ。
- ぐらついた台の上や傾いたところ。
- 振動の多いところ。
- 風呂場など、湿気の多いところ。
- 金属板やコンクリートなど電波を遮へいする障害物があるところ。
- 換気が悪く、空気が澱んでいるところ。
- 近くにコードレス電話（親機、子機）があるところ。

テレビの色むらについて

本機をテレビのそばで使うと、スピーカーの影響により、テレビの種類により色むらが起こる場合があります。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15~30分後に再度電源を入れてください。それでも色むらが残る場合は、本機をさらにテレビから離してください。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

結露について

寒いときに暖房をつけた直後など、本機の内部の部品に露（水滴）がつき、正しく動作しないことがあります。約2、3時間放置してください。正常に動作するようになります。

ACアダプターについて

- 本機には、付属のACアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ（JEITA規格）

- ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は、速やかにコンセントから抜いてください。
- ACアダプターを本棚や組み込みキャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険を避けるために、ACアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使わないでください。また、ACアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

取扱いについて

- 火災の危険を少なくするために、新聞、テーブルクロス、カーテンなどで機器の換気口を塞がないでください。
- 火のついたろうそくを機器に置かないでください。
- この製品に使用する電池について、自治体によっては廃棄を規制しています。あなたの地域の自治体にご確認ください。

お手入れ

柔らかい布でからぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください（ただし端子部分やスピーカーネットには水分が触れないようにお気を付けください）。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めるので使わないでください。

本機について

- インターネットなど、家庭外のネットワークに接続した状態で他の機器からのアクセスを認める設定をした場合、ご使用の接続の構成によっては、お客様が望んでいない第三者による不正アクセスにより、データ改編などの損害を被る可能性がありますので、次のいずれかを行っていただくことが必要です。
  - ルータを使用し、適切な設定を行って設定する。
  - 事前にアクセスする機器の登録を行う。
- 他人の著作物を許可無く特定多数または不特定多数が利用できる家庭外ネットワークに送信すること、また他人の著作物を許可なく特定多数または不特定多数からアクセスできる状態におくことは、著作権法上禁止されていますのでご注意ください。
- DLNA対応について：
  この商品はDLNAガイドラインv1.0に基づいて設計されています。正式なDLNA認証に向けて商品化されたもので、相互接続性を維持するために、商品のアップグレードを行う可能性があります。

主な仕様

インターフェース

無線LAN： IEEE802.11b/g
（WEP64bit/WEP128bit
/WPA-PSK TKIP/WPA2-PSK AES）
無線周波数 2.4GHz

入出力端子

オーディオイン端子： ステレオミニジャック
PHONES端子：ステレオミニジャック
サービス用端子

アンプ部

実用最大出力：10W+10W

スピーカー部

方式：バスレフ型
形状：フルレンジ コーン型　65mm×２

電源

ACアダプター

入力：AC100-240V 50/60Hz
（付属の電源コードはAC100V用です）
出力：DC12V 3A

許容動作温度

5℃～35℃

許容動作湿度

25%～80%

最大外形寸法

341×123×213mm（幅/高さ/奥行き）（突起部含まず）

質量

約3.4kg

付属品

12ページをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機に接続して使用できるパソコンの動作環境など

パソコン	PC/AT互換機 CPU：1.00GHz以上 ハードディスクの空き容量：1.2GB以上 （音楽データの量に比例して空き容量が必要になります。） RAM：256MB以上 サウンドボード
OS	Windows XP SP2日本語版 Windows Vista日本語版 （標準インストールのみ）
ソフトウェア	サーバ： VAIO Media Integrated Server Ver.6.2 Windows Media Player 11 楽曲管理ソフト： SonicStage Ver.4.3 Windows Media Player 11

ご注意

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- Windows XPのNTFSフォーマットは、標準インストール（お買い上げ時）でのみお使いいただけます。
- すべてのパソコンに対して、システムサスペンド、スタンバイ状態、休止状態などの動作を保証するものではありません。
- 上記のOS以外のOS、自作PC、標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境、マルチブート環境、マルチモニター環境、 Macintoshでの動作は保証いたしません。
- パソコンの性能や使用環境によって、動作に制限事項が生じる場合があります。
- VAIO Media Integrated Serverの最新情報は、VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）でご確認ください。
- SonicStageの最新情報は、SonicStageのサポートページ（http://www.sony.jp/support/pa_common/products/sscp.html）でご確認ください。
- Windows Media Playerの最新情報は、マイクロソフト社のホームページでご確認ください。

本機で再生できるパソコン内の曲のファイル形式

サーバがVAIO Media Integrated Serverのとき

元の曲				本機で再生時のファイル形式
ファイル形式	音楽配信サービスなどによる著作権保護		ビットレート／サンプリング周波数	
ATRAC3	あり		－	ATRAC3
	なし	SonicStageで「著作権保護あり」で録音	66/105/132 kbps	ATRAC3
		SonicStageで「著作権保護なし」で録音	－	リニアPCM
ATRAC3plus	あり		－	ATRAC3plus
	なし	SonicStageで「著作権保護あり」で録音	48/64/256kbps	ATRAC3plus
			48/64/256kbps以外のビットレート	リニアPCM
		SonicStageで「著作権保護なし」で録音	－	リニアPCM
MP3	なし		32kHz未満	リニアPCM
			32kHz以上	MP3
WMA	あり		－	再生できない
	なし		－	WMA
AAC	あり		－	再生できない
	なし		－	リニアPCM
WAV	なし		－	リニアPCM
リニアPCM	なし		－	リニアPCM

サーバがWindows Media Playerのとき

元の曲			本機で再生時のファイル形式
ファイル形式	音楽配信サービスなどによる著作権保護	ビットレート／サンプリング周波数	
ATRAC3	あり／なし	－	再生できない
ATRAC3plus	あり／なし	－	再生できない
MP3	なし	－	MP3
WMA	あり	－	WMA
	なし	－	WMA
AAC	あり／なし	－	再生できない
WAV	なし	－	WAV
リニアPCM	なし	－	リニアPCM

索引

【あ】

【か】

【さ】

【た】

【な】

【は】

【ま】

商標などについて

- “ネットジューク”およびそのロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- “ウォークマン”およびそのロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- “VAIO”およびそのロゴ、“VAIO Media”は、ソニー株式会社の商標です。
- SonicStageおよびそのロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- “ATRAC”、OpenMGおよびそれぞれのロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- 本機はFraunhofer ⅡS及びThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows Vista、Windows Mediaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- MacintoshはApple Inc.の登録商標です。
- 「AOSS」は、株式会社バッファローの商標です。
- “J-WAVE Brandnew-J”およびそのロゴは、株式会社J-WAVEの登録商標です。
- “Live365.com”およびそのロゴは、Live365の登録商標です。
- 本製品には、弊社とその著作権者とのライセンス契約に基づき、使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社は以下の内容をお客様に通知する義務があります。下記内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

WPA Supplicant

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

Content providers are using the digital rights management technology for Windows Media contained in this device ("WM-DRM") to protect the integrity of their content ("Secure Content") so that their intellectual property, including copyright, in such content is not misappropriated.
This device uses WM-DRM software to play Secure Content ("WM-DRM Software"). If the security of the WM-DRM Software in this device has been compromised, owners of Secure Content ("Secure Content Owners") may request that Microsoft revoke the WM-DRM Software's right to acquire new licenses to copy, display and/or play Secure Content. Revocation does not alter the WM-DRM Software's ability to play unprotected content. A list of revoked WM-DRM Software is sent to your device whenever you download a license for Secure Content from the Internet or from a PC. Microsoft may, in conjunction with such license, also download revocation lists onto your device on behalf of Secure Content Owners.

- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「305」＋「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 **受付時間** 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in Malaysia

(1)